刀くでくらしを支える



三重県企業庁

三重県企業庁 マスコットキャラクター 『**みずたまくん**』

0

三重県企業庁は市町とともに

ご家庭に水道水をお届けしています。

日常生活に欠かせない「水道用水」を県内 18 市町に供給しています。

三重県企業庁は、県が経営する公営企業です。日常生活や経済活動に欠かせない水道水を安定してお届けするために、徹底した管理のもと、さまざまな設備で水を処理して、県内の水道水の約30%にあたる「水道用水」を18市町に供給しています。



強靱な水道施設の整備

令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に伴う道路陥没事故をはじめ、全国的にインフラ施設の老朽化、劣化に伴う大規模な事故が発生しています。また能登半島地震では、生活用水が長期にわたり断水し、住民の皆さんの生活に大きな影響を与えたため、水道水や水道施設の重要性が再認識されています。

三重県企業庁では南海トラフ地震や近年頻発する自然災害への対応とともに、AI やビッグデータなども活用し、耐用年数、劣化状況等を総合的に判断して効率的な老朽化対策を進め、強靱な水道施設の整備をめざします。



調整池(水を貯めるタンク)の耐震補強



地震に強い耐震管へ

水道事業予算(令和7年度)

令和 7 年度の水道事業予算において、強靱な水道施設を整備するため、耐震化の費用約 22 億円、 老朽化対策の費用約 27 億円を計上しています。

県営水道の施設づくりや、水をお届けするための費用には市町の水道事業を通じて皆さんからいただいた水道料金の一部が使われています。

55%

その他 約**78**億円

支出合計

231 億円

約27億円

45%

直径25cmの水道管を1km 耐震化するには、約1億4千万円もの費用がかかります。
※更新箇所の状況により変動します。

施設づくりにかかる費用 約 127億円 支出に占める割合 55%

浄水場や水道管、ポンプ所などをつくり、古くなった施設を更新する費用など

水をお届けする費用 約 104億円 支出に占める割合 45%

> 水をきれいにするた めの費用や水を送る ためのポンプの電気 代など

老朽管(埋設 40 年以上)の割合

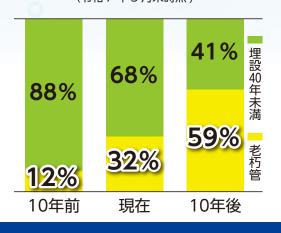
約22億円 老朽化

(令和7年3月末時点)



耐震適合管の割合

(令和7年3月末時点)



地震に弱い水道管 (非耐震適合管)がま だ31%あり、今後、 老朽化の進行も見込まれるため、引き続き「耐震化」や「老 れるため、引き続き「耐震化」の取り組みが必要です。